

令和7年度 島根県立隠岐養護学校 学校評価

| 令和7年度 重点テーマ  |  |
|--|--|
| 共生力・表現力・実現力を育む取組ヘトライ ～ 育てたい資質・能力の育成につながる授業実践や校内外のさまざまな取組の推進～ |  |
| 具体的内容  | ①社会見学や体験学習の充実等、経験や興味・関心を広げ、深めるための取組の推進<br>②自己理解(課題や強みなど)の促進等、人との関わりや社会参加の基盤となる取組の推進<br>③海洋等の自然、郷土芸能等の文化の学習の充実等、地域への愛着と理解を深めるための取組の推進<br>④コミュニケーション力(基盤となる言語力、表現力、理解力)を身につけるための取組の推進<br>⑤地域の課題を発見し、解決していく学習の充実等、課題解決力を身につけるための取組の推進<br>⑥交流学習、地域の大人との交流の充実等、社会性を高め 理解啓蒙を進めるための取組の推進<br>⑦メディアを組み合わせた広くわかりやすい情報発信<br>⑧隠岐圏域の特別支援教育のセンター的役割の推進 |

- [4段階評価基準]
- A 十分に達成できている
  - B おおむね達成できている
  - C どちらかといえば達成できていない状況
  - D ほとんど達成できていない状況

| 学級<br>分掌等        | 具体的<br>内容 | 重点目標  | 手立て  | 評価指標(成果・取組指標)  | 評価者                                  | 達成している割合 |     |    |    |   | 4段階<br>評価 | 学校関係者評価  |       |  |
|------------------|-----------|---|--|--|--------------------------------------|----------|-----|----|----|---|-----------|--|-------|--|
|                  |           |   |  |  |                                      | 5        | 4   | 3  | 2  | 1 |           | 4段階<br>評価  | 評価・意見 |  |
| 小<br>中<br>学<br>部 | ②④        | 児童生徒が、自分で決めて行動する姿を増やす。                      | ・児童生徒が自分の思いや状態を伝えられるよう、実態に応じたコミュニケーション手段を増やしたり、伝える相手や場面を増やしたりできるような取組をする。<br>・児童生徒の良さや特技をお互いに目にする機会を設定する。                            | ・日々の学習や生活の中で、児童生徒の伝える力を高める取組をすすめることができた。(遠征隊を取る、自己決定の機会を設定するなど)<br>・掲示や発表の場等を活用し、自己表現する機会を設けることができた。   | 小<br>中<br>学<br>部<br>教<br>員<br>の<br>み | 46%      | 54% |    |    |   | B         | ・様々な場面で児童生徒の主体性を尊重したり、引き出したりする取組が見られた。<br>・担当教科の授業において、自発的に挙手をして発表したり、活動など自分で進めたいとする生徒の姿が増えている。日頃のペースとなる学級での学習の積み重ねの成果であると感じる。<br>・修学旅行の事前学習では、自分の楽しみなことやほしいもの、食べたいものを自己決定し、人に伝え合う場面を設けることで、集団で気持ちの高め合いながら取り組むことができた。<br>・廊下の掲示物を通して児童生徒の取組や成果をたくさんの人に見てもらえたと思う。<br>・掲示物や美術作品の展示などで、他学級の取組や児童生徒の実態や成長を知ることができてよかった。あわせて、学びの足跡を見ることができた。  | B     | ・学級での学習の中で、自己決定や伝え合う場面を意図的に設定したこと、児童生徒が自分で選択したり自分から発言したりする姿が増えている。<br>・児童生徒の学習の様子や作品を積極的に掲示し、多くの人に見てもらった。掲示物を通して、教員間でも他学級の取組や児童生徒の実態や成長を知ることができた。<br>・引き続き個々の実態に応じた学習や支援を探りながら、児童生徒が発言したり決定したりしたことを行動に移し、やり遂げる経験を増やしていきたい。   |
| 高<br>等<br>部      | ①②        | 生徒が自分を認め、個性を活かしながら、様々なことにチャレンジしようとする姿を引き出す。 | ・日々の関わりの中で、生徒が自分の良さや強みに気付いたり、友達のように困っている様子を見つたりできるように図っていく。<br>・学部内で生徒個々の強みを共有し、強みを生かした学習活動を設定し、生徒が自信をもてるようにする。                      | ・生徒の強みを発揮できる学習活動を設定することができた。<br>・生徒の思いや声を大切にしたい取組、ステップアップを図れる学習の設定ができた。  | 高<br>等<br>部<br>教<br>員<br>の<br>み      | 41%      | 59% |    |    |   | B         | ・作品の応募、入賞など、生徒が自信をつける機会となった。<br>・販売活動では、生徒の考えを生かすことで意欲的に取り組む姿が見られた。<br>・年間を通じて、生徒の強みや得意な部分を取り入れ学習活動を設定することができた。<br>・役場での販売やクッキー作りなど、生徒の意見やアイデアを取り入れることで、生徒自身が主体的に取り組んだり、友達と意見交換しながら取り組む姿が見られた。<br>・生徒の強みについて教員間で共有できていたので、各教員が担当する学習や行事等、様々な場面で学習を設定しやすかった。<br>・生徒がみずつ自信をつけていく姿、周りが認めていく姿も見られ、生徒同士の関係性や雰囲気もよくなっていると感じた。<br>・絵を描くことが好きな生徒が多く、作品コンクールやガスターの応募等は生徒が意欲や自信をもって取り組むことができた。<br>・販売活動や発表会では、生徒の主体性を大切にすることで、生徒一人一人が目標をもって取り組んだり満足感を得たりすることができた。  | B     | ・学校に登校できた生徒については、自己の強みを発揮する機会を通して、自信を付け、様々な力の育成につながる機会を設けた。学校の登校が難しい生徒についても、今年度同様、生徒にあった学習の機会を提供し、自己存在感、有用感を感じられる取組を大切にしていきたい。   |
| 総<br>務           | ⑦         | 本校の取り組みについて各メディアを使って情報発信し、地域への理解啓蒙に努める。     | ○ホームページ、SNS、学校新聞、校外掲示等で情報発信を行う。<br>○情報発信したことを校内へ周知する。<br>○児童生徒の肖像権に注意し、複数でチェックを行い情報が漏れないよう徹底する。<br>○職員朝礼やチャットで情報発信について校内に周知することができた。 | ○広報全体計画に基づいて組織的にホームページ、SNS(月に3回程度)や学校新聞(年間4回)、校外掲示(学期1回)を通して、児童生徒の学習活動の様子を情報発信することができた。<br>○SNSの発信は活動内容や様子がよくわかりやすかった。時々見ている。<br>・学校生活の様子を定期的に掲載し、情報発信を行っていた。校内周知をすることは分かりやすかった。また、肖像権の確認等が徹底されていた。<br>・インスタグラムで、他学級や学部の学習の様子を見ることができ、よかった。<br>・インスタは発信前に学部や分掌にも閲覧してもらえより安心して情報発信ができると思った。(ストーリーはよいが投稿は残るので)。<br>・情報発信は大切であるが、1つの行事で、ホームページ、学校新聞、学級通信と発信が多数あると、原稿を作成する担当者は負担があると思うので、もう少し簡素化できる方法を考えていけるとよい。 | 全<br>員                               | 55%      | 40% | 5% |    |   | B         | ・校内へのアナウンスを含め、実施されていた。<br>・肖像権等について、適切にチェックを行っていた。<br>・ホームページの古い情報を更新してほしい。(連絡関係)<br>・コンスタントに情報発信していたと、ありがたいと思う。これらの発信に対して、地域の方(保護者も含めて)がどのように受け止めておられるか、何が有効なのか等も、知りたい。(PTA役員会や学校運営協議会で聞くとよい)。<br>・SNSの発信は活動内容や様子がよくわかりやすかった。時々見ている。<br>・学校生活の様子を定期的に掲載し、情報発信を行っていた。校内周知をすることは分かりやすかった。また、肖像権の確認等が徹底されていた。<br>・インスタグラムで、他学級や学部の学習の様子を見ることができ、よかった。<br>・インスタは発信前に学部や分掌にも閲覧してもらえより安心して情報発信ができると思った。(ストーリーはよいが投稿は残るので)。<br>・情報発信は大切であるが、1つの行事で、ホームページ、学校新聞、学級通信と発信が多数あると、原稿を作成する担当者は負担があると思うので、もう少し簡素化できる方法を考えていけるとよい。 | B     | ・今年度は非常に丁寧な情報発信ができたと感じています。『地域に開けた学校』を続けることで、産学や地域住民・関係者、さまざまな方から認知してもらえ隠岐養護ができていくと思います。情報漏洩がなかったことは評価できると思います。<br>・情報発信の頻度・内容、年々パワーアップしていると感じています。動画を取り入れたことで、情報量がアップした点や新しくなったのは、養護学校がいろいろなことに取り組み魅力の学校であること、いろいろな特技を持った生徒が通っていることが伝わって良いと思う。<br>・ホームページ・SNS・校外掲示・学校新聞など、多様な媒体を効果的に活用し、学校の取組を地域に向けて積極的に発信していた。更新の迅速さや内容の分かりやすさは特に優れており、学校の教育活動が地域に広く伝わる環境が整っていた点は高く評価できる。また、肖像権への配慮や複数チェックの徹底など、情報管理面でも高い意識が共有され、安全性と信頼性の高い情報発信が実現していた。これらの点から、総合的に「A」と判断した。 |
| 教<br>務           | ②         | 授業実践を支える指導検討会の充実ヘトライ!                       | ・指導検討に必要な事前(時間、準備内容等)について、事前の連絡・調整を計画的に行う。<br>・指導検討シートは、工夫されていたか。それは、指導に活用しやすい指導検討シートの様式を工夫する。                                       | ・指導検討会に関わる目標等(準備内容等)について、事前の連絡・調整を計画的に行う。<br>・指導検討シートは、工夫されていたか。それは、指導に活用しやすい指導検討シートの様式を工夫する。  | 全<br>員                               | 51%      | 44% |    | 5% |   | B         | ・計画通り実施されていた。<br>・指導検討シートに、話し合うべき事項が柱立てされていて、協議が行いやすかった。(2)<br>・事前に細かく示されていて助かった。また、指導検討シートに項目があり、全体で振り返りやすかった。<br>・指導検討会の目的についてしっかり調整してもらったことで、確実にメンバーが集まって話し合いができた。シートに沿って進めることで落ちなく話し合うことができた。<br>・年度初めに新担任がスムーズに目標や年間指導計画が立てられるように、合わせた指導での取り扱う教科が明記されたものがあるとよい。   | B     | ・事前の調整や指導検討シートの活用が、指導検討会の充実で役立つと感じた。指導検討会への事前調整や、指導検討会への活用が計画的に行われており、協議のしやすさや振り返りのしやすさにつながっていた点は評価できる。また、目的の確認や話し合いの流れが整理され、一定の成果が見られた一方で、年間指導計画の進捗や、教科の明記など、次年度の教育課題につながる仕組みづくりには改善の余地があり、取組の質をさらに高める必要があることから、総合的に「B」と判断した。   |

| 学部分<br>分掌等 | 具体的<br>内容 | 重点目標   | 手立て   | 評価指標（成果・取組指標）  | 評<br>価<br>者 | 5   | 4   | 3  | 2  | 1   | 目標や評価に関する<br>意見・要望  | 4段階<br>評価   | 評価・改善策等  | 4段階<br>評価  | 評価・意見   |
|------------|-----------|--|---|--|-------------|-----|-----|----|--|---|---|---|--|--|---|
|            |           |  |   |  |             | 5   | 4   | 3  | 2  | 1   |   |   |  |  |   |
| 研修<br>相談   | ①         | つけない方を明確にし、児童生徒の深い学びを引き出す授業づくりの実践。                                   | 教員間での情報共有の場や機会を設け、学校全体で児童生徒の育ちを見守ったり支えたりする仕組みを作る。   | ・「よらあや掲示板」の充実…研修資料の展示、研究の進捗状況の掲示、情報共有等ができた。<br>・授業づくりシートの作成…研究グループグループチャーター会の流れで意見を集約し、授業づくりシートを作成することができた。      | 全員          | 74% | 26% |    |  |   | ・チャットでのアノンスを含め、わかりやすく提示されていた。<br>・よらあや掲示板で、公開授業の様子や研修の情報を知ることができてよかった。<br>・掲示板付近がいつも充実していて、研修スペースとして役立っていたと思う。<br>・研修会で日頃の取組と校内研究を結びつけることができ、有意義だった。<br>・事前に情報共有され、取り組みやすい内容であったり、楽しい雰囲気を取り組めたりしたのではこれまでにない研修会であった。授業づくりのメモを作成し、ファイルにまとめてくれたので、他グループの様子もよく分かった。また、ファイルに研究テーマに向けた資料等も綴じてあり、勉強になった。                     | A   | ・よらあや掲示板を活用し、校内研究や研修等の情報発信、情報共有を行うことができた。来年度はさらにニーズに沿った運用をしていきたい。<br>・各研究グループの先生方を中心に、研究の日や研修会で疑問やご意見など積極的に出していただいたことで研究の深まりや授業の質の向上につながった。<br>・研究会後は研修部担当が各研究グループで話し合った内容を1枚のプリントにまとめ、ファイルにまとめてくれたので、他グループの様子もよく分かった。また、ファイルに研究テーマに向けた資料等も綴じてあり、勉強になった。 | A  | ・学校関係者の心をくすぐるような仕組み作りはAIにはできないと思います。引き続き、まごころもつた、隠岐養護ならではの環境づくりを進めていただきたいです。<br>・どういった研修内容だったのか（どのような力をつける研修なのか）が気になる。<br>・研修資料の整理や中間報告のまとめ、校内への周知などが非常に丁寧かつ迅速に行われており、教員間の連携体制がよく機能していた。研修スペースの整備や資料の充実度も高く、校内研修の質向上に大きく寄与していた点が高く評価できる。<br>また、研修資料のファイル化や他校との共有可能性など、今後の発展を見据えた取り組みも見られ、学校研究のテーマと実践が結びつく仕組みづくりが進んでいたことから、総合的に「A」と判断した。 |
|            |           |  |   |  |             | 48% | 37% | 5% | 10%  | ・校内でわかりづらい取組であるが、通信によって、どのような取組を目ざされているのがよくわかった。<br>・報告会があったので、管内の状況を知ることができて、有意義だった。<br>・センター的機能の報告会では、管内の課題について知ることができ、とともに支援を要する子ども達の多さに驚いた。<br>・島前地区の小中学校の研修会の企画等、各学校のニーズの調査を丁寧に行うことで、次につながる研修会となった。計画等大変ではあるが継続してほしい。<br>・コーディネーターの先生が他校や圏域で研修されている資料等も回覧または掲げてほしい。どのようなニーズがあるかわかると思う。 | ・昨年、地域からのニーズが高く、ニーズに応える相談体制づくりが必要という課題が上がっていた。外部に出ることは担当負担が大きいし、来年度からは校内の生徒数も増えるということだったので、持続可能な体制づくりに取り組むことは大胆だと思われる。現状、取り組み、解決を進められると良い。<br>・教育委員会とも連携をとりながら巡回相談を着実に実施できていると思います。<br>・地域の特別支援教育に関する情報共有や関係機関との連携が進められており、ネットワークづくりに向けた基盤が整いつつある点は評価できる。一方で、相談体制の明確化や管内全体での共有方法など、今後さらに改善すべき点も見られることから、総合的に「B」と判断した。 |   |  |  |   |
| 生徒<br>指導   | ②<br>⑥    | 関係各所と協力し、児童生徒が自分のよさや個性を発揮できるような学校行事の計画実施を行う。                         | ・行事、活動を地域と共同し取り組む。<br>・児童生徒の主体性を引き出せるよう各学部と連携して活動内容や役割の調整を図る。   | なおよし大運動会や隠岐養護まつりの開催において関係各所と連携して取り組んだ。児童生徒会執行部が主体となって児童生徒会行事を年に一回開催することができた。                                     | 全員          | 51% | 49% |    |  |   | ・昨年度と比較すると生徒主体の取組を実施できていた。生徒会も活躍する場があり、今後も生徒が主役の学校行事になると良い。<br>・歓迎会や全校活動など、生徒会が主催となって、全校児童生徒で楽しめる活動企画、実行してもらった。<br>・生徒会が活性化することで、児童生徒の生き生きとした姿が増えたように思う。生徒の主体性を今後も大切にしたい。<br>・生徒会の企画の集会において、教員が行う説明を生徒が行えるように。  | A   | ・運動会については、関係各所と密に連携を図り、児童生徒の個性や良さが十分に発揮できるよう、協力して取り組んだ。今後も引き続き連携を強化するとともに、アンケート結果を踏まえた改善策を検討し、実施していく。<br>・執行部が主体となって学校行事等に積極的に取り組めた。児童生徒の意見が丁寧に汲み取り、達成感や充実感を得られる活動を増やすとともに、役割や責任を持ち主体性を発揮できる活動を設定していく。   | A  | ・イベントは準備から大変ですが、生徒会も活躍する場があり、今後も生徒が主役の学校行事に力を願っています。計画的に事業を実施していた。運動会は参加させていた。楽しい気持ちになった。<br>運動会などを通じて生徒の主体性を養い、達成感や充実感を得られることは生徒たちにとって大きな自信となり、素晴らしい活動だと思います。<br>・運動会をはじめとした行事では、地域との協力体制が強化され、児童生徒の個性が発揮される場面が多く創出されていた。これらの点から、総合的に「A」と判断した。   |
|            |           |  |   |  |             | 47% | 48% | 5% | ・計画通り実施されていた。<br>・特に高等部における進路にかかわる情報について地域の小中学校の関心の高さを感じた。パンフレット配布などの広報活動は、地域のニーズに応える取組だと思う。<br>・現場実習や進路に関する行事が充実していたが、他の行事との兼ね合いもあり、生徒の負担となる部分があった。（特に1学期）<br>・校内実習のあり方について、実施形態をいくつか提案してほしい。また、必要経費にうちえ進路関係の経費から支出ができることよい。<br>・生徒の実態に応じて、現場実習の場所や日数、時間を調整できてよかった。実習を終えた達成感が生徒の自信につながっていると感じた。<br>（2）<br>・生徒の実態や状況に合わせて柔軟に対応していただいたことで、充実した進路学習ができた。 | ・引き続き、地域や生徒のニーズに応じた柔軟な対応を行う。<br>・進路に関する情報提供や実習の充実、SNSを活用した広報活動やSNSを今後効果的に進める。<br>・1学期の行事や他の活動との調整を図り、生徒の負担軽減と生徒の優先順位付けを行う。<br>・担任や生徒の意見、体調を反映した柔軟なスケジュール調整を継続し、無理のない進路学習を推進していく。<br>・校内実習について、日数や内容、方法、必要物品について学部や担任と相談しながら検討・提案していく。<br>・保護者の進路に対する不安やニーズを把握するため、アンケートや面談等を実施する。           | ・さまざまな事業所との連携をされており、日頃からすごいなと思っていた。<br>・できることが広がり、外部の大人と関わることで、生徒の地域で生きていく自信にも繋がっていくと思う。<br>・過去の就職例を含めてSNS発信することで、養護学校生への広い可能性を周知できると思う。<br>・隠岐養護の多くの卒業生は卒業後も地域に住み、地域で活動することで隠岐の活動となっている。引き続き、地域事業所との情報交換や当校へのかかわりを増やす機会を作ること、生徒の進路候補が増えて、職業選択の幅が広がり、地域内就職率向上につながるのではないだろうか。  |   |  |  |   |
| 進路<br>指導   | ①⑦        | 現場実習や事業所・職場見学を通して、生徒の興味関心を広げ、深めるとともに進路に関する情報提供をHPやSNSを通して発信し理解啓発を図る。 | ・事業所・職場見学グループホーム見学や現場実習の充実。<br>・SNSの更新する。進路パンフレットを作成し50部配布。<br>・SNSを活用し発信できた。また、進路パンフレットを小・中学校、高等学校、企業等に配布し広報活動や進路学習について適切に周知できた。 | 現場実習において生徒に合った実習先の選定や期間等の工夫を行って実施することができた。<br>・SNSを活用し発信できた。また、進路パンフレットを小・中学校、高等学校、企業等に配布し広報活動や進路学習について適切に周知できた。 | 全員          | 47% | 48% |    |  | 5%  | ・いつも迅速に対応していただいているので助かっている。（4）<br>・迅速な対応で修繕や対応策が打ち出されることで、子ども達や教員にとって安心・安全な学校で過ごすことができた。  | B   | ・報告のあった破損・危険箇所は、概ね1週間以内に対応できたと考えている。<br>・令達予算には限りがあるが、児童生徒にとって最大限の利益となるように工夫して予算を活用していきたい。   | B  | ・今後もこの隠岐養護学校が地域に必要な学校であることは変わらないと思います。快適な環境づくりのために、大規模な改修工事も必要かと思っています。県への強い要望を行っている時期かもしれませんが、外部からの来客を期待するイベントをする際には、現在の校舎の立地はとても魅力的であるため、既存両方の活用を設計していきたいと思う。<br>・昨年同様です。日々の修繕対応はしっかりとできています。意見も上がっていましたが、まずは備品管理台帳を作成し更新計画を立てることが良いと思います。  |
|            |           |  |   |  |             | 81% | 14% | 5% | ・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、概ね1週間以内に対応できたと考えている。<br>・令達予算には限りがあるが、児童生徒にとって最大限の利益となるように工夫して予算を活用していきたい。  | ・今後もこの隠岐養護学校が地域に必要な学校であることは変わらないと思います。快適な環境づくりのために、大規模な改修工事も必要かと思っています。県への強い要望を行っている時期かもしれませんが、外部からの来客を期待するイベントをする際には、現在の校舎の立地はとても魅力的であるため、既存両方の活用を設計していきたいと思う。<br>・昨年同様です。日々の修繕対応はしっかりとできています。意見も上がっていましたが、まずは備品管理台帳を作成し更新計画を立てることが良いと思います。  |   |   |  |  |   |
| 事務<br>部    |           | 施設・設備の適切な保全管理  | ○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定する。   | ○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は1週間以内に決定した。  | 全員          | 81% | 14% |    | 5%   | ・いつも迅速に対応していただいているので助かっている。（4）<br>・迅速な対応で修繕や対応策が打ち出されることで、子ども達や教員にとって安心・安全な学校で過ごすことができた。  | B   | ・報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、概ね1週間以内に対応できたと考えている。<br>・令達予算には限りがあるが、児童生徒にとって最大限の利益となるように工夫して予算を活用していきたい。 | B  | ・今後もこの隠岐養護学校が地域に必要な学校であることは変わらないと思います。快適な環境づくりのために、大規模な改修工事も必要かと思っています。県への強い要望を行っている時期かもしれませんが、外部からの来客を期待するイベントをする際には、現在の校舎の立地はとても魅力的であるため、既存両方の活用を設計していきたいと思う。<br>・昨年同様です。日々の修繕対応はしっかりとできています。意見も上がっていましたが、まずは備品管理台帳を作成し更新計画を立てることが良いと思います。 |   |